受付番号	202603		
許可番号	大歯医倫　第111470号		
研究課題名	母性看護学における学修者の経験を多面的に明らかにする研究：シミュレーション学習リーダーのTEM（複線径路等至性モデリング）分析と履修者の能動的学修の質的記述的分析		
研究責任者	福山 智子	申　請　者	福山 智子
研究終了日	2029年3月31日		
所　　属	看護学部 母性看護学領域	所　　属	看護学部 母性看護学領域
職　　名	教授	職　　名	教授

申請の概要

平成24年（2012年）に中央教育審議会から「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」で学士課程教育の質的転換が求められ、「学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換」について詳細に示され、看護基礎教育においてもアクティブ・ラーニング（能動的学修）は一般化した。しかし、教員が工夫した教材を学修者は受動的に学修しているのではないか、本当に能動的学修になっているのか、という問いが本研究の着想に至った経緯である。学修者が授業計画に能動的に参加し、他の学修者の演習を支援する役割を担う者を本学では「シミュレーション学習リーダー」と位置付け、意欲のある学生が各領域で能動的な活動を行っている。シミュレーション学習リーダーの経験・径路とその意味づけ、そしてシミュレーション学習リーダーとともに学ぶ履修者の能動的学修の特徴を多面的に明らかにすることは、学修者主体のアクティブ・ラーニングを促進する教育方略に関する知見を提供し、看護基礎教育における教育方法の改善に資すると考えられる。

そこで本研究の目的は、母性看護学演習においてシミュレーション学習リーダーが役割を担う過程で経験する多様な径路とその意味づけを複線径路等至性モデリング（Trajectory Equifinality Modeling；TEM）により明らかにするとともに、シミュレーション学習リーダーと共に学ぶ履修者の能動的学修の特徴を質的記述的に明らかにすることとした。